

尸丁新聞

私の好きな言葉

佐賀県立唐津工業高等学校 PTA会長

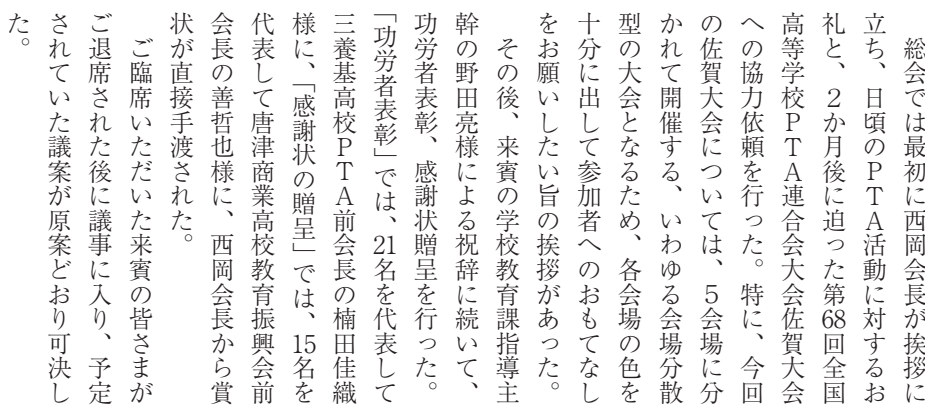
伸也

農
國
家
之
基
礎

春秋

会長に西岡豊氏を再任

総会では、平成29年度の事業、決算・監査報告の後、役員改選を行い、西岡豊会長（佐賀商業高校後援会会長）を再任した。その後、平成30年度の事業計画案、会計予算案などを協議し、提案とどりに可決した。会の後半には、第68回全国高等学校PTA連合会大会佐賀大会の実行委員会を開催し、これまでの準備状況の確認や、今後の作業の計画等を行った。



事業及び会務報告の後、決算・監査の報告を行う。

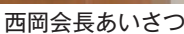
収入	1507万1860円
支出	1295万4536円
差引	211万7324円

会長に西岡豊氏を再任。副会長、理事、監事共に左表のとおり承認された。

三 平成30年度事業計画案・予算案審議

事業について、今年度は第68回全国高等学校PTA連合大会会佐賀大会を8月に開催する。ため、高P連地区別指導者研修会の実施は地区に一任、高P連新聞は11月に1回発行とした。

平成30年度		役員		の		皆		さん		委員長 副委員長	
会長	副会長	西岡 豊	佐賀商 会長	調査広報	理事	浦田 幸晴	塩田工 会長	○調査広報	飯盛 直喜	弘学館	進路対策
國司 稔生	小 城	〃	〃	全国研修	〃	天本 隆治	鳥栖工定	〃	山口光一郎	鳥栖工 校長	〃
宮地 晃弘	神埼清明	〃	〃	○健全育成	〃	吉松 幸宏	佐賀商	〃	吉松 幸宏	佐賀学園	〃
光野 和彦	高志館	〃	〃	○総 務	〃	梶原 彰夫	神埼清明	〃	梶原 彰夫	佐賀学園	〃
野崎 伸也	唐津工	〃	〃	○進路対策	〃	岩村 彰	高志館	〃	岩村 彰	神埼清明	〃
馬場 和久	敬 徳	〃	〃	○進路広報	〃	大坪 正幸	唐津工	〃	大坪 正幸	高志館	〃
浦田 幸晴	塩田工	〃	〃	○調査広報	〃	池田 積	唐津工	〃	池田 積	唐津工	〃
山崎 克子	致遠館	〃	〃	○調査広報	〃	立石 琢磨	敬 徳	〃	立石 琢磨	敬 徳	〃
谷川 靖信	佐賀農 校長	〃	〃	○調査広報	〃	島本 克己	塩田工	〃	島本 克己	塩田工	〃
宮地 晃弘	神埼清明 会長	〃	〃	○健全育成	〃	近藤 久雄	鳥栖商 会長	〃	近藤 久雄	鳥栖商 会長	〃
光野 和彦	高志館	〃	〃	○総 務	〃	宮添 聡	唐津南	〃	宮添 聡	唐津南	〃
牟田 清敬	佐賀西	〃	〃	○進路対策	〃	渡辺 智子	杵島商	〃	渡辺 智子	杵島商	〃
野崎 伸也	唐津工	〃	〃	○進路対策	〃	小出 邦彦	佐高P連元会長	〃	小出 邦彦	佐高P連元会長	〃
馬場 和久	敬 徳	〃	〃	○進路対策	〃	小出 邦彦	佐高P連元会長	〃	小出 邦彦	佐高P連元会長	〃
池田 和幸	伊農林	〃	〃	○進路対策	〃	小出 邦彦	佐高P連元会長	〃	小出 邦彦	佐高P連元会長	〃



その後、第68回全国高等学校PTA連合会大会佐賀大会の実行委員会が行われた。

西岡大会実行委員長の挨拶の後、佐賀大会の概要版（第5班）が事務局から示され、静岡大会の視察報告や運営全般を振り返りながら、佐賀大会に向けて最後の準備を行っていくことを確認した。

また、沖縄大会において、佐賀大会の広報活動を行うことについて了承された。



本校は平成28年度より『農業
高校の専門性を活かした農業分

野のクロ・バル・リ・リ・ターの食成」という研究開発構想名でスーパーグローバルハイスクール(SGH)の指定を文科省から受けました。全国に約5千校ある高校の中で、指定を受けているのは123校、そして全国の約350校の農業系高校の中でこの指定を受けているのは本校だけです。

校長室には、昭和25年5月23日の昭和天皇御巡幸時の写真や本校OBで佐賀県知事を務められた香月熊雄先生による「質実剛健」の書と共に、「農国家之基礎」と書かれた大きな書があります。この書は明治44年に内務大臣(大隈内閣では農商務大臣)を務められた大浦兼武先生によるものです。

「農国家之基礎」とは、農業が人間の生存に不可欠な食糧を生産する重要な産業であると同時に、豊かな生活環境の形成や環境浄化、治山治水などの国土保全の機能を果たしているという意味だと私は解釈しています。そのため、これを見るたびに、いつの時代においても農業が国にとって重要な使命も持つ産業である事を再認識しています。

SGH指定3年目の本校は、今後も農業高校としての高い専門性を維持しながら、グローバルに活躍するリーダー育成プログラムを開発していきます。全国の専門高校のモデル校として新しい学びを活用し、農業課題に国際的な視点から情報を発信できる人材を育てたいと思います。

佐賀農業高等学校

校長 谷川 靖信

文部科学 大臣表彰 (優良PTA)

(優良PTA)

伊万里農林高等学校PTA

平成30年度優良PTA文部科学大臣表彰を伊万里農林高等学校が受賞しました。学校と連携したPTAの教育支援活動が評価され、全国高P連大会佐賀大会において表彰されました。



この表彰はその趣旨に、「PTAの本来の目的・性格に照らし、優秀な実績を上げているPTAを表彰し、PTAの健全な育成、発展に資することを目的とする」とうたわれています。本県ではここ数年、高志館高校、鳥栖工業高校、牛津高校などが受賞しています。

文部科学 大臣表彰 (PTA活動振興功労者)

(PTA活動振興功労者)



唐津商業高等学校教育振興会

前会長 善 哲也氏

学校へ頻りに足を運び、学校祭でのバザー等、生徒と保護者が協調できる活動を企画し盛大に開催した。また、2年間佐賀県高P連の副会長として、九州管内で開かれる4委員会へ参加し活躍するとともに、全国高P連大会「佐賀大会」唐津会場の運営の準備等に尽力した。

功労者

善 哲也氏
樋口 陵子氏

優秀単P

小城高校
(新)鹿島高校

全国高P連表彰

伊万里高等学校後援会

元会長 久我 剛毅

本校の会長として、7年間にわたる活動の功績はもろろんのこと、佐賀県高等学校PTA連合会においても、平成21年度に監事、平成23年度には理事、平成24年度は副会長(理事)を務めた。

特に平成24年度には総務委員会の委員長を務め、九州地区高等学校PTA連合会の総務委員会に佐賀県を代表して3回出席した。



中原特別支援学校PTA

前会長 樋口 陵子氏

持ち前の行動力とリーダーシップで、本校PTAの改革に積極的に関与されました。県知P連の会長としても尽力され、災害時の対策として作成された「PTA緊急時サポーターシート」は現在多くの学校で使用されています。本校だけでなく、佐賀県のPTAのために尽くされ、その功績は誠に顕著です。

受賞者の横顔



三養基高等学校PTA

前会長 楠田 佳織氏

平成27年度より佐賀県立三養基高等学校PTAの役員として、副会長1年、会長2年の計3年を歴任していただきました。明るく前向きな姿勢で、三養基高校のPTA活動の発展と活性化に大きく貢献していただきました。



杵島商業高等学校PTA

前会長 田中 浩吉氏

本校の後援会組織改編の頃に、会長を引き受けてくださり、27年度からのPTA組織への変更の際に多大なるご尽力を發揮され、本校PTA活動に協力していただいた。

小城高等学校PTA



センター試験前3年生激励会

「参加できるときに、参加できる人が、無理のない参加を」をスローガンに、開校記念天山登山の給水活動、地区別保護者会、8月3年生激励会、小城高祭前の除草作業、大学訪問研修会、PTA主催研修会、センター試験前3年生激励会、年3回のPTA会報の発行などの活動を行っています。

三養基高等学校PTA

PTAの活動として、多くの保護者、職員が協力的に、ボランティア活動、文化祭時のバザー&カフェ、大学訪問、3年生激励のためのぜんざい会、年3回のPTA新聞など、日頃より精力的な活動を行っています。



ぜんざい会

本校PTAは、保護者と学校職員、生徒が一体となり、長年にわたり、有明海沿岸の清掃や鹿島市内の通りの花植えボランティア活動を行い、地域に貢献してきました。また、冬のクラスマッチ時や学校祭「鹿実フェア」時には、炊き出しやバザーを行い、保護者と学校が一体となる関係を築き上げ、生徒の健全育成を推進してきました。

九高P連表彰

優秀単P

三養基高校
佐賀西高校

功労者

楠田 佳織氏
田中 浩吉氏

「薫楠(くんなん)」

佐賀西高等学校後援会

優秀賞
九州地区高P連
広報紙コンクール

広報紙「薫楠」は、一昨年「優良賞」、昨年「優秀賞」、そして今年「優良賞」と3年連続の受賞となった。今年度は、4月21日(土)に一次審査・二次審査が行われ、九州各県から提出された40紙の中から、最優秀賞が1校、優秀賞が4校、優良賞が5校選出された。



挨拶運動

ど年間を通して積極的な活動をしている。また、会員に楽しく読んでもらえるような広報紙作りにも力を入れている。

佐賀西高等学校後援会

学校祭で保護者や来場者向けにカフェを開いたり、先生方と一緒に行う朝の挨拶運動や、寒稽古時には、生徒に愛情たっぷり手作りぜんざいをふるまうなど

佐賀県高P連表彰

(敬称略)

◎功労者表彰

三養基	楠田 佳織
唐津西	藤田 剛
武雄	稲富 雅和
白石	溝口 信也
高志館	友納 大志
高志館	七島 満好
佐賀農	片淵 耕一
鳥栖工	横枕 孝
有田工定	重富 治男
鳥栖商	山内 裕史
唐津商	善 哲也

◎功労者表彰

伊万里商	福母 秀一
杵島商	田中 浩吉
嬉野	松尾 章
金立特支	井上恵美子
中原特支	樋口 陵子
伊万里特支	松永 俊子
佐賀清和	加藤 静雄
佐賀女子	大串 信子
佐賀学園	武藤 育大
東明館	本田 智

◎感謝状贈呈

唐津商	善 哲也
伊万里商	福母 秀一
塩田工	荒川 博文
佐賀西	松林美左恵
多 久	蒲原 正憲
高志館	七島 満好
武雄	山口 孝
神 崎	山口 義民
佐賀工	副島 政史
唐津商	西田 寛
伊万里商	熊谷 正実
塩田工	津川 久博
神崎清明	大澤 忠明
唐津青翔	清水 久
伊万里	松尾 利矢

生徒に差し迫るスマートフォン等の不適切使用による危険性 ～今、保護者に知ってほしいこと！求められること！～



近年のスマートフォン等の急速な普及に伴い、高校生のSNS等の利用が増加しています。それらは高い利便性が認められる反面、利用に夢中になってしまい生活習慣が乱れたり、使い方によっては犯罪やトラブルに巻き込まれたりする要因ともなっています。

一方、警察庁のまとめで、昨年(平成29年)1年間にSNSの利用に伴う事件に巻き込まれた18歳未満の子どもの1813人で、統計を取り始めた2008年以降で最多だったことが分かりました。スマートフォンが普及が子どもにも広がる中、SNSで知り合った相手に自分の裸を撮影して送るよう強要されることが背景にあるとみられています。県内においても、自画撮り被害やSNSを通じて知り合った人に会うために家出をするなどの深刻な事案が発生しています。また、学校ネットパトロールからSNSを介した不適切な画像や動画の送信・拡散、個人情報等の掲載等の報告が高校だけで3年連続、年間100件を超えており、SNSの不適切利用に歯止めがかかっていない状況にあります。

このことから、SNSの不適切利用によって生じる問題や長時間利用による生活習慣の乱れなどは、学校での指導に加え、保護者自身が問題意識を持ち、子どもを指導するなど、保護者の理解と協力が不可欠であると考えています。

特に、保護者に求められることとして、
①スマートフォン・携帯電話のシヨップでフィルタリングを設定すること
②SNS等の危険性について、親子で認識を共有した上で、見守りを行うこと
③個人情報投稿しない、SNS等で知らない人とつながらない等、親子でスマートフォン等の利用のルールについて話し合い、設定すること
などが挙げられます。

では、警察庁が、昨年1年間に被害に遭った子どもの9割がフィルタリングを設定していなかったことを明らかにしました。フィルタリングには抜け道も多く、有害情報を完全に遮断することは困難ですが、設定することは最低限の防御策と考えます。保護者においては、SNS等の不適切利用によって生じる問題を「対岸の火事」とすることなく、親子でSNS等の危険性について十分認識するとともに、スマートフォン使用に係るルールを決めて、しっかり守ることが大切です。「大人はいいのに、どうして子どもだけダメなの？」と不信感を招かぬよう、保護者もスマートフォンの長期間使用に注意しましょう。そして、保護者自身も子どもを守るという観点から、適切なインターネット利用を心がけましょう。

子どもは見えています。
(佐賀県教育委員会)

シリーズ No27
頑張ってるね!!
輝いてるね!!

ものづくりと部活動で人づくりを目指す 唐津工業高等学校

本校は、「ものづくりによる人づくり」「部活動による人づくり」を柱として、生徒が入学してよかった、保護者が入学させて良かったと思う学校づくりに取り組んでいます。



九州大会優秀賞(第2位)



測量部門競技風景

部活動では、高校総体でヨット・ボート・相撲が団体優勝し、他の部も上位入賞するなど、どの部も活発に取り組んでいます。ものづくりでは、土木研究部が第17回高校生ものづくりコンテスト九州大会に佐賀県代表として出場しました。



ものづくり体験教室の様子

これからも部活動やものづくりに学校を挙げて積極的に取り組んでいきたいと思っています。

校訓『高志潔心』、高い目標を持ち、 潔い心を育てる。高志館高等学校

本校は、今年創立85年目の農業単独の高校です。設置学科は、園芸科学科、環境緑地科、食品流通科の3学科で、各科ともに2年次より2つのコースに分かれて専門の学習を行っています。校訓は、高い目標を持ち、目標達成に向け邁進する態度と潔い心を育てるという「高志潔心」で、スローガンである「マナーアップ高志館」「為して学ぶ高志館」「夢を叶える高志館」の3本の矢のもと、学ぶ意欲の向上や意識の定着に向けた指導、また、魅力ある専門教育の充実に伴うキャリア教育の推進など、生徒を成長させる取り組みを行っています。



部活動では、アーチエリー部が、今年創立85年目の農業単独の高校です。設置学科は、園芸科学科、環境緑地科、食品流通科の3学科で、各科ともに2年次より2つのコースに分かれて専門の学習を行っています。校訓は、高い目標を持ち、目標達成に向け邁進する態度と潔い心を育てるという「高志潔心」で、スローガンである「マナーアップ高志館」「為して学ぶ高志館」「夢を叶える高志館」の3本の矢のもと、学ぶ意欲の向上や意識の定着に向けた指導、また、魅力ある専門教育の充実に伴うキャリア教育の推進など、生徒を成長させる取り組みを行っています。



様々な方面で頑張っています。

部活動では、アーチエリー部が、今年創立85年目の農業単独の高校です。設置学科は、園芸科学科、環境緑地科、食品流通科の3学科で、各科ともに2年次より2つのコースに分かれて専門の学習を行っています。校訓は、高い目標を持ち、目標達成に向け邁進する態度と潔い心を育てるという「高志潔心」で、スローガンである「マナーアップ高志館」「為して学ぶ高志館」「夢を叶える高志館」の3本の矢のもと、学ぶ意欲の向上や意識の定着に向けた指導、また、魅力ある専門教育の充実に伴うキャリア教育の推進など、生徒を成長させる取り組みを行っています。

部活動では、アーチエリー部が、今年創立85年目の農業単独の高校です。設置学科は、園芸科学科、環境緑地科、食品流通科の3学科で、各科ともに2年次より2つのコースに分かれて専門の学習を行っています。校訓は、高い目標を持ち、目標達成に向け邁進する態度と潔い心を育てるという「高志潔心」で、スローガンである「マナーアップ高志館」「為して学ぶ高志館」「夢を叶える高志館」の3本の矢のもと、学ぶ意欲の向上や意識の定着に向けた指導、また、魅力ある専門教育の充実に伴うキャリア教育の推進など、生徒を成長させる取り組みを行っています。

部活動では、アーチエリー部が、今年創立85年目の農業単独の高校です。設置学科は、園芸科学科、環境緑地科、食品流通科の3学科で、各科ともに2年次より2つのコースに分かれて専門の学習を行っています。校訓は、高い目標を持ち、目標達成に向け邁進する態度と潔い心を育てるという「高志潔心」で、スローガンである「マナーアップ高志館」「為して学ぶ高志館」「夢を叶える高志館」の3本の矢のもと、学ぶ意欲の向上や意識の定着に向けた指導、また、魅力ある専門教育の充実に伴うキャリア教育の推進など、生徒を成長させる取り組みを行っています。

高校生ものづくりコンテスト佐賀県大会に参加して

敬徳高等学校

6月9日(土)に佐賀市で行われた高校生ものづくりコンテスト佐賀県大会【自動車整備部門】で中村大輝君(浜玉中出身)が最優秀賞に輝き、また久保田乙稀さん(国見中出身)も女子史上最高得点で優秀賞に輝き、中村君は九州大会に出場して3位に入賞し健闘しました。



大会は学科、測定、点検、故障原因探求の4種目で知識と技術を競うもので、中村君は400点満点中396点とほぼ完璧な結果を出すことができました。100分の1ミリ単位の寸法を

正しく測定するなどの技術が求められますが、「日頃の勉強を通じてやるべきことは理解していた。課題を終えた瞬間手ごたえ十分だった」と、ミスなくやれたことに笑顔が思わずこぼれたようです。



「はるむ生命 ひかる生命」君と生きるために

神埼清明高等学校

生徒を送るために、
人生を創るために、
生きを考え、挑戦する生徒
よき良き社会を、
学び、良き他を尊重し、
自己を



タイトルに掲げた言葉を教育指針とし、県内初の総合学科として、県内はもとより、九州の総合学科のパイオニア校としての役割を担っています。地域の小学校や保育園との交流やセルフレディーズインターンシップなど、本校独自の取組に励み



ながら、地域に愛される学校を目指し、生徒と保護者、教職員が協力しながら頑張っています。PTA活動は各学年10数名の評議員を中心に、文化祭では手作りカレーのバザーを、ロードレース大会では温かい豚汁を提



供するなど、各種の活動を行っています。また、クリスマスケーキ作りなど本校の特色を生かしたふれあい活動を開催し、役員相互の交流を大切にしながら、学校への理解を深めています。今年は総合学科になって23年目、これから本校が目指していく生徒の姿を新たに設定し、今後もPTAが一丸となって、子どもたちの学校生活をバックアップし、夢実現を後押ししていきます。

多様な授業で、個性と可能性を引き出す

太良高等学校

本校では、多様な選択科目を設定し単位を認定しています。特に「体験学習」においては、



老人保健施設にて、お茶淹れサービス



いちごハウスにて収穫作業

地域の方々の力をお借りし、一年を通して実際の企業や施設で働きながら学んでいます。体験



アスパラハウスにて収穫作業

学習は「福祉」「サービス」「農業」「林業」とそれぞれ小人数のグループに分かれ、学習しています。その中で社会性や他人を思いやる心を育んでいます。ビニールハウスの暑さを体験し、植物を育てる苦労を実感したり、老人保健施設で高齢者の方々と触れ合い、優しく声掛けをしてもらい、心が温かくなったり。



ホームセンターにて商品並べ

机上の学習では学ぶことのない経験を積んでいます。本校では、学校行事のみならず日々の授業に関しても、PTAをはじめ地域の方々に支えていただきながら、生徒の成長を見守っています。

九州地区高P連大会

結 沖縄大会 (6月15日)

伊万里農林高校PTA
会長 池田 和幸

第2分科会 「本校のPTA活動と進路指導支援」 ～面接官はPTA～

- 1 はじめに (略)
- 2 学校概要 (略)
- 3 本校のPTA活動と組織
- (1) 会長1名、副会長4名、監査3名、顧問2名で構成されている

- ① PTA総会
毎年5月の第2土曜日に開催し、参加できなかった保護者には「PTA保護者連絡会」を開催し総会の内容を伝えていく。
- ② 本校の主なPTA活動
(2) 農業文化祭関連
11月の文化祭前には、生徒・先生・PTA一体となって、校内の木々の伐採・剪定・清掃活動を行い、当日には母親部が中心となり、PTA餅つき・バザー・うどん・おにぎりなどの昼食の販売を行っている。
- ③ 豚汁会
2月の1・2年生のマラソン大会と3年生最後のクラスマッチでは、全校生徒分の豚汁を作って振る舞う「豚汁会」を実施している。



- ④ その他の主な行事
・学期ごとのあいさつ運動や見守り巡回指導(健全育成部)
・広報紙「穂の実」を学期ごとに発行(広報部)
・保護者体験型の研修会を開催し、研修後はスポーツ大会も開催(研修部)
- (3) PTA模擬面接会
本校の進路指導部は、「地域・企業に求められる人材育成」を基本方針とし、進路内定率100%を目指して、3年間を見通した教育を行っている。その結果、10年連続進路決定100%という輝かしい実績を誇っている。その一助として、PTAが



模擬面接

主体となった模擬面接会を夏休みに続けている。
生徒たちは、この面接会を契機に何度も練習を重ね、自信をもつて本番に臨んでいる。この模擬面接会は、早期の進路確定を願って実施している。

- 4 おわりに
子どもたちが卒業時に進路目標を達成するためには、先生方に指導をすべて委ねるのではなく、保護者としての支援が不可欠であると考えます。今後も、よりよい方策を模索しながら取り組んでいきたい。



第 68 回 全国高等学校PTA連合会大会 佐賀大会

平成 30 年 8 / 20 (月)・21 (火)

会場：佐賀県総合体育館、佐賀市文化会館、唐津市文化体育館
鳥栖市民文化会館、嬉野市体育館の5会場

8月20日の大会第1日目は、各会場における県内高等学校吹奏楽部によるアトラクションの後、開会式、表彰式、基調講演を行いました。基調講演では、講師のレモンさんこと山本シェンソーさんに「レモンさんのビタミントーク！〜慈しみの愛言葉！We are シンセイ！〜という演題で講演いただきました。



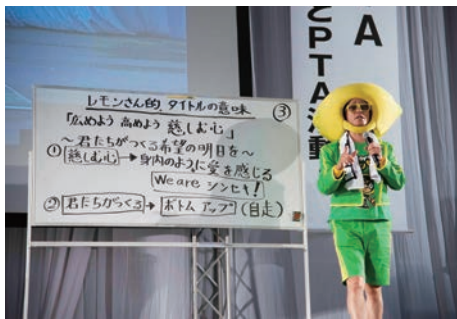
開会式での西岡実行委員長のあいさつ

8月19日(日)の大会前日には、午後から各会場において分科会別運営会議、リハーサルを行い、17時からはホテルニューオータニ佐賀において大会運営会議、18時からはレセプションを行いました。



大会を終えて、牧田会長と西岡実行委員長

8月21日の大会第2日目は、県内高等学校のアトラクションの後、会場ごとに記念講演を行いました。分科会報告、閉会式を行いました。閉会式では、「佐賀大会 大会宣言(案)」が採択された後、全国高P連旗が西岡大会実行委員長から牧田会長に返還され、その後、京都府・京都市高P連に授与されました。最後に西岡大会実行委員長が閉会の挨拶を行い、2日間の日程が無事に終了しました。



レモンさんによる基調講演

した。分科会では、助言者、コーディネーター、パネリストの皆様をはじめ、佐賀東高校の演劇部の生徒さん、致遠館高校の生徒さんなど多くの方々のご協力により、佐賀大会の特色を出した内容の濃いものを参加者の皆さんに提供できました。翌日の記念講演の様子等も含めて、この後の紙面に、各会場の担当校より紹介していただきます。

佐賀県総合体育館

高志館高校

講師である株式会社タニタの谷田社長が10年間行ってきた取り組みをお話しされました。概要は次の通りです。

株式会社タニタは、世界初の体内脂肪計や体組成計を開発するなどヘルスメーターのパイオニアであり、健康を「はかる」を通じて世界の人々の健康づくりに貢献することを会社の理念としています。そのような中、現代の日本は少子高齢化により医療費が増加するなど、健康が日本の経済に悪影響を及ぼしています。このことから、タニタでは若いころから生活習慣病の予防を行ない、健康寿命を延ばし日本をもっと健康にしたいと考えました。

そこで、若い世代にアプローチをするためにSNSやWebなどを利用した取り組みを始めました。その一つに、ニコニコ動画「コマスタチャンネル」の活用があります。関東と関西のうどんについて、どちらの塩分が多いか(濃い味か)塩分計を用いて実験するなど、動画で商品の使用例や使用方法を紹介しました。タニタ公式ツイッターでもこの様な、「ユルすぎるつぶやき」が話題となっています。実は、このようなつぶやきは、非公式で社員が始めたことだったのですが、質問があれば他社製品であっても使用方法を解説する親切などが評判となったことから公式のアカウントになりました。この他、Webを利用した取り組みとして、歩数計や体脂肪計の数値をスマホで管理し健康をサポートする会員制健康管理サービスがあります。もともとあまり人気のなかった

佐賀市文化会館

小城高校

8月20日(月)、佐賀市文化会館での全国大会は、アトラクションとして出演していただいた、龍谷高校吹奏楽部及び佐賀清和高校吹奏楽部の素晴らしい演奏で始まりました。



谷田社長による記念講演

このサービスを社員全員に体験してもらい、意見を出し合って改善を行い、体組成計・歩数計・活動量計・血圧計・血糖値などの数値をスマホで管理し運動習慣が身につく「歩数イベント」や食習慣の改善に役立つレシピコンテンツなど、健康をサポートできるように工夫しました。

食についての取り組みも行っており、タニタの実際の社員食堂のメニューをもとにしたレシピ本を作成しました。私(社長)は、調理師と栄養士の有資格者で「主婦感覚」を持っているため、①冷蔵庫にある食材を有効に活かせるレシピが何ページに載っているかわかる「食材使い回し索引」や、②レシピ通りに作ったときに余ってしまう食材の活用アイデアをページの余白に入れるなど工夫しました。さらにタニタのレシピ本が好評を得たことから、お客様の声に答える形でタニタの社員食堂のメニューを食べることができるよう「タニタ食堂」をオープンしました。ここでは体組成を計れるカウンセリングルームを併設し、ダイエットなどの健康相談を受けることができるなど健康のサポートも充実させています。また、食品メーカーとのコラボレーション(タニタ食堂の1000カロリーデザートやタニタ食堂の減塩みそ)も積極的に行っています。このように国民の健康づくりにタニタは今後とも挑戦し続けます。



基調講演では、AIと福祉の関係について触れられ、AIは道具であるから、それを利用する私たちがしっかりと目的を持つこと、AIを社会貢献に生かすことの大切さを語られました。パネルディスカッションでは、AIを道具としてどう生かすのか、何のためにAIを使うのか、慈しみ深い社会をつくるためにAIは活用できるのではないかなど議論されました。

中ホールでは、特別第2分科会「主権者教育」が開催され、最初に佐賀東高校演劇部による「カセガワ高校生徒会長選挙」が上演され、その後パネルディスカッションが実施されました。



主権者教育を深めるために、投票だけでなく、社会とのかかわる、また、貢献する主権者を育てるために、さらに、18歳を



社会の豊かさにもつながることを語られました。本会場では、全国各地のPTA会報も展示され

ており、多くの参加者が、各県の優れた会報に見入っておられました。

また、佐賀地区の地元企業による物産販売にも、休憩時間等には多くの参加者が集い、にぎわっていました。

最後になりましたが、本会場のスタッフとしてご参加いただいた各学校の保護者・教職員の皆さまに、前日の準備から最終日の片付けまでご協力・ご支援をいただき、大会日程を無事に終了することができました。大変お疲れさまでした。そして、大変ありがとうございました。(文責 小城高 横井久雄)

唐津市文化体育館

唐津工業高校

第2分科会では「進路指導とPTA」学校と保護者が協働するキャリア教育」というテーマで実践発表がありました。

神奈川県立鶴見総合高等学校からは学校行事・部活動や学校近隣の方々との間に立ち応援するPTAとしての活動報告、富山県立上市高等学校は就職希望者に対しPTAが模擬面接を企画・実施したこと、三重県立朝明高等学校は学校周辺の清掃活動や運動部の応援活動、鹿児島県立大口高等学校は学校存続に向けた伊佐市からの金銭的援助と大学と連携した地域貢献活動など、さまざまな活動紹介がありました。

少子高齢化などに伴う社会変化の中で、進路観の育成、進路決定における保護者の関わりについての教育効果と重要性について実践発表がありました。



神奈川県立鶴見総合高校PTA役員による寸劇

記念講演では「高橋是清と耐恒寮の少年たち」と題して、唐津商工会議所会頭の宮島清一氏のお話を伺いました。若き日の高橋是清が、唐津藩の洋学校「耐恒寮」に英語教師として赴任し、そこで生徒だった辰野金吾・天

野為之・掛下重次郎など明治日本の屋台骨を支えた俊才たちとどのように関わってきたかなどを、現存する史料を基に講演されました。

高橋是清は日本銀行総裁、大蔵大臣、内閣総理大臣を務めたが二・二六事件で暗殺された人物です。



高橋は少年時代、酒に遊びに自由気ままに過ごす反面、英語を学びたいと目標を決めると単身、計画なしに渡米するという無鉄砲な面があったようです。帰国後、英語を武器に職に就くも酒で身を滅ぼします。そんなとき唐津藩が英語教師を募集していることを友人が聞きつけ高橋に勧めたそうです。

耐恒寮では辰野をはじめとした俊才達を生徒に持ちます。二年足らずで高橋は東京に戻りましたが、在職中は大変面倒見が良かったようで、辰野達も高橋を慕って上京しました。無鉄砲な振る舞いばかりが紹介されますが、生徒達からだけでなく友人知人からも慕われる人柄でコミュニケーション能力には大変長けた人物であったようです。高橋が関わった生徒達は、その後、日本発展に大きく貢献しました。教育内容も大切ですが、肝心なことは人としてどう向き合い、関わるかだと問われ講演を終えられました。

鳥栖市民文化会館

神埼清明高校



三神地区の8校が一致団結し、鳥栖会場（鳥栖市民文化会館）で全国から1400名のお客様をお迎えしました。

当日まで、地区独自の話し合いの他、各係や各校会長、副会長レベルでの協議を自主的に行いながら、鳥栖会場の準備を進めてきました。誰もが経験のない全国大会の運営に不安を抱えながらも、スタッフ一人ひとりがおもてなしの心を忘れず、来てよかったと思っていきたいという気持ちで当日を迎えました。

地元業者による販売
鳥栖のよかもん、お土産に！



写真撮影のお手伝い
これも大事なおもてなし

基調講演
環太平洋大学教授 古賀稔彦さん
「夢の実現～挑戦することの大切さ～」

いくつかのトラブルはありましたが、何か起これば、係以外の事でもみんなで何とかしようという姿勢で対処し、助け合いの精神で解決してきました。温かく、思いやりのあふれる鳥栖会場。最終日の夜は地区慰労会を行いました。交わすグラスと共に「お疲れ様」の声がこちらから、そして長く重いレッスンから解放された安堵と達成感から涙を流す場面も。本当にお疲れさまでした。

分科会
「生徒指導とPTA活動」



高校生によるアトラクション
鳥栖商業高校ダンス部によるパフォーマンス（下）
牛津高校ジャンベ部による演奏とダンス（左上）
三養基高校吹奏楽部による演奏と歌（左下）



嬉野市体育館

塩田工業高校

猛暑の中、第68回全国高等学校PTA連合会佐賀大会が県内各地で開催されました。その開催地の一会場である嬉野市体育館においては、体育館部の担当者・職員が集い、一丸となって協力し、大会の運営に当たりました。全国から約1200名の参加者をお迎えするということもあり、緊張感・不安等もありましたが、嬉野市体育館部独自の取り組みやアイデアを採り入れる等、運営方法にも工夫を凝らしたこともあり、参加者の皆様を含め、私達運営者側も有意義で楽しめる大会となりました。嬉野市体育館部の運営がスムーズに出来たのも御協力・御支援を頂きました全ての方々のおかげです。大変有難うございました。そして、お疲れさまでした。

以下、大会の様子を記録した写真等を掲載し、報告とさせていただきます。



会場設営の様子。右側は、運営者のミーティング。



暑い中、参加者の方々を歓迎する準備中です。

ご協力へのお礼

佐高P連事務局

連日の猛暑の中、また台風19号の動きが大変気になる中で開催しました「第68回全国高等学校PTA連合会大会佐賀大会」を無事に終えて、早いもので3か月になろうとしています。その節は、会員の皆さまに大変お世話になりました。

この佐賀大会の開催に向けて、4年ほど前から長期間にわたり準備を進めてまいりました。大会会場が5会場に分かれて開催する、いわゆる会場分散型の大会というデメリットを、逆に各会場の色を出しおもてなしをしようというプラス思考で捉え、記念講演の講師選定を含めて各会場の特色を十分に発揮できた大会であったと思います。

この間、会場部会ごとにも数多くの会議を重ねて検討いただきました。また大会本番では、ターコイズブルーのスタッフシャツを着用したスタッフの皆さまには、参加者への歓迎の御挨拶や御案内、また落ちたゴミを拾うなどのきめ細かな対応をしていただきました。佐賀県高P連の団結力の強さを、全国に発信できたのではないかと思います。

大会期間中や終了後に、多くの参加者の方から「素晴らしい大会であった」とお褒めの言葉をいただきました。これもひとえに、準備の段階から大会本番まで一生懸命関わってくださったスタッフの皆さまのおかげであると、深く感謝申し上げます。

これからも充実したPTA活動が佐賀県内で展開されることを御期待申し上げ、お礼のことがとさせていただきます。ありがとうございました。



嬉野会場独自で閉会式を行いました。



嬉野高校ソングリーディング部によるアトラクションです。



嬉野高等学校和太鼓部によるアトラクションです。



鹿島高等学校吹奏楽部によるアトラクションです。



第4分科会の質疑応答中の一コマです。